



講義②

世田谷区不登校保護者のつどい

進路説明会

多様な進学先と進学に向けた準備について

令和5年6月10日
東京都立世田谷泉高等学校
統括校長 沖山 栄一

中学校卒業後の選択肢

👉 就職する

👉 高校には進学しないで学ぶ

- 高校卒業程度認定試験に合格して大学等へ進学
- フリースクールやサポート校（学習塾）、オンライン講座の活用
- 高等専門学校／各種学校／高等専修学校／公共職業能力開発施設

👉 高校に進学する **99%**

- 公立／私立
- 全日制／定時制／通信制
- 学年制／単位制
- 普通科／専門学科／総合学科

Q 登校していないので成績（内申点）や学力が不安です。高校には進学できますか？

A できます。不登校を経験した皆さんのために特別な入試方法のチャレンジスクールがあります。

Q チャレンジスクールに合格できなかったらどうすればいいですか？

A 不登校に理解のある学校、不登校が不利にならない学校は他にもあります。

Q 登校できるかどうかわからない生徒は
通信制高校がよいでしょうか？

A 通信制も一つの選択肢ですが、どのくらい
登校できるかによって他にも選択肢があります。

学び方を選ぶ上で大切なこと

- 👉 一人でも学習はできますが、リアルな学校生活から学ぶことも小さくありません。
- 👉 高校に進学することがゴールではありません。
- 👉 学びを継続できるかどうかを考えましょう。

高校に進学して学ぶ

高校を選ぶ際の基準としては・・・

👉 入学者選抜の方法

学力テスト、調査書（内申点）、志願申告書、
面接、作文など

👉 学習方法、学校生活

登校時間、授業内容や行事・部活動、卒業条件

「学力」と「登校」で判断する

- | | | | |
|------|------|---|-------------------|
| ①学力○ | 朝登校○ | 👉 | 全日制高校 |
| ②学力△ | 朝登校○ | 👉 | 特色ある全日制高校 |
| ③学力△ | 朝登校△ | 👉 | 特色ある定時制高校 |
| ④学力ー | 登校×△ | 👉 | 通信制高校
(+サポート校) |

都立高校の特色ある全日制・定時制

👉 全日制のエンカレッジスクール（6校）

👉 昼夜間（多部制）定時制

* チャレンジスクール（6校+1*）

令和7年度には立川地区にも開校

* 昼夜間定時制（6校）

👉 夜間定時制（44校）

(1) エンカレッジスクール

【全日制・学年制・普通科や工業科】

- * 小・中学校で十分能力を発揮できなかった生徒のやる気を育て、頑張りを励まし、応援する
- * 社会生活を送る上で必要な基礎的・基本的学力を身に付けることを目的とする
- * 基礎・基本を徹底するとともに体験学習を重視

 足立東 秋留台 練馬工科 中野工科 蒲田 東村山

(2) チャレンジスクール

【三部制の定時制・単位制・総合学科】

- * 小・中での不登校経験や、長期欠席等が理由で高校を中途退学した生徒等を主に対象とする
- * 教育相談・自立支援の取組が手厚い
- * 他部履修により3年での卒業も可能

👉 大江戸 桐ヶ丘 世田谷泉 稔ヶ丘 六本木 小台橋
八王子拓真のチャレンジ枠（普通科）
令和7年度には立川地区にも開校予定

(3) 昼夜間定時制高校

【三部制の定時制・単位制・普通科】

新宿山吹には情報科も

- * 単位制で午前・午後・夜間の通学を選択
- * 様々な進路希望に対応した多様で弾力的な教育
- * 他部履修により3年での卒業も可能
- * 不登校経験者も30%くらい入学

👉 六本木 荻窪 八王子拓真

一橋 砂川 新宿山吹には通信制課程も併設

(4) 夜間定時制高校

【学年制と単位制・普通科、総合学校、専門学科】

- * 全日制と校舎を共有
- * 昼夜間定時制に比べ少人数のためアットホームな人間関係
- * 4年間で卒業（単位制は3年での卒業も可能）

👉 都内に学年制 39校、単位制 5校

これらの学校に共通する特色

入試で中学校での不登校経験が不利になりにくい

- 👉 夜間定時制・昼夜間定時制では学力検査・調査書で合否を判定しますが一部を除いて応募倍率が1.0倍以下（原則は定数内不合格は出しません）
- 👉 チャレンジは学力検査や調査書、エンカレッジは学力検査を合否判定に用いませぬ。

相談体制の充実

👉 生徒や保護者の個別相談、個に応じた支援を行います

👉 専門職の配置が他校よりも充実しています
(世田谷泉の例)

スクールカウンセラー 5名 週5日

ユースソーシャルワーカー 4名 週3日

臨床発達心理士・特別支援教育士 2名 月2回

学校精神科医 月1回

最大の特色は

- 👉 様々な経験と特性をもつ、多様な生徒が入学しています。
- 👉 他人と比較する必要はありません。自分の目標に向かって、自分のペースで努力できます。

具体的には・・・

- 👉 不登校や中途退学経験者
- 👉 コミュニケーションに苦手意識がある人
- 👉 ゆっくり学びたい、学び直したい人
- 👉 健康不安や様々な特性、障害を有する人
- 👉 日本語を母語としない人
- 👉 学校と両立させたい仕事や活動がある人

単位制のメリット

- 👉 学年の区分がなく、決められた単位数を修得すれば卒業が認められる（学年制のような「進級」「留年」はない）
- 👉 自分の興味・関心に応じた科目を選択できる
- 👉 自分のペースで学習に取り組むことができる

三部制のメリット

- 👉 I部は午前、II部は午後、III部は夜間
どの部に在籍するかは入学時に決定。人数は限られますが転部の機会もあります
- 👉 1日4時間の授業で4年間で卒業が基本ですが、
他部履修や学校外の学修認定等で3年間で卒業も可能です

総合学科のメリット

- ➡ 普通科目と幅広い専門科目を学びます
(例) 世田谷泉高校の専門科目には3つの系列
生活・福祉系列
創作・表現系列
製作・技術系列
- ➡ どの系列の科目も自由に選択可能



【参考】学年制と通信制高校について

- ➡ 学年制の学校では、毎日登校することや時間割通りに授業を受けることが求められます。
- ➡ 出席日数不足や成績不振で一部科目でも未履修になると、その学年の全ての学習をやり直す、いわゆる「留年」となります。
- ➡ 通信制高校は登校頻度や学習方法を幅広く選択することができます。

世田谷泉高校の生徒の様子

- 👉 入学生生の約80%が不登校経験者
- 👉 入学を機に登校が安定する生徒が60～70%
- 👉 5～6月頃から欠席がちになる生徒もいる
- 👉 出席率・単位修得率は約70%
- 👉 3年卒50% 修学年限6年までに卒業は80%

さいごに

- 👉 私立高校にも都立高校以上に、多様な学習ニーズに応える素晴らしい学校が沢山あります。
- 👉 「通学しない」も選択肢ですが、リアルな学校生活から学べることも沢山あります。
- 👉 周囲の力をもっと活用しましょう。身近に応援してくれる人や機関がたくさんあります。

不登校は問題行動ではなく、登校のみが目標ではないのですから、いつでも・どこでも・どのようにでも学べるようにすることは学校の責任です。

私は、学校が変わることによって「不登校」という概念が無くなる日」が必ずやってくると確信しています。



皆さんが
不登校に悩んだり、
苦しんだりする必要は
絶対にありません。